

＜青葉区中央市民センター＞の取組み【目標3-①】

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成 27 年度の取組みをご紹介します。

☆いいなあ！せんだいーこども歳時記☆

小学生、盆踊りに参加する！ 8/19 22 名参加

当市民センターでは、小学生を対象に上杉児童館と連携して、本町夏まつりの盆踊りに参加する体験を企画しました。この盆踊りは、本町地区の夏を彩る祭りで地域の伝統行事です。

まず、小学生たちが、上杉コミュニティセンターで地域のおばあちゃんにゆかたを着せてもらい、盆踊りも教えてもらいました。おまけとして、ゆかたを着たときの座り方やおじぎの仕方などの所作も習いました。

盆踊りの本番は、錦町公園です。本物のお囃子と歌に合わせて、やぐらのまわりを楽しく踊りました。かわいい踊り手に、主催者及び町内会の皆さまから暖かい声援をいただきました。

参加した小学生からも、「楽しい夏休みの思い出になりました」との感想がありました。



ゆかたの着付けの後は、おじぎの仕方や立ち居ふるまいを習いました。



「相馬盆唄」を練習中。ここから「本町夏まつり」盆踊り会場へ歩いて移動しました。



やぐらの上ではお囃子の生演奏。踊りながら、やぐらのまわりを1周、2周…。夏休みの楽しい思い出になりました！

＜柏木市民センター＞の取組み【目標3-①】

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

子どもたちが安心して過ごせるようなまちづくりを目指し、地域団体が協力して「てらまちフェスタ2015ーあそびでつながるまちづくりー」を平成27年度も開催しました。

秋休み最終日（10/14）の通町小学校体育館・校庭を会場とし、各団体が、それぞれ特色を生かしたコーナーを設け、乳幼児から大人まで約380名の参加で盛り上がりました。

今年は参加団体が増え、実行委員会を立ち上げ、何度も集まり、話し合い、手作り感満載の地域イベントになりました。“より強くなった地域のつながりをこれからも大切にしていきたい！”と、実行委員の皆様より感想を頂きました。

【てらまちフェスタ 2015 実行委員会】

柏木市民センター・元気アップ柏木実行委員会・青葉区中央市民センター・青葉区家庭健康課・通町児童館・通町子育て支援クラブあおば・アフタースクールぱるけ・認定こども園みどりの森・通町小学校PTA・通町地区町内会連合会・通町社会福祉協議会

	通町・柏木は 昔ながらの寺まち。 特色を生かした 催して、住んで いる子どもも大人 もみんなで心を つなげましょう。		
オープニング：熊野神社神楽 「種こまき」（三条中学校 有志）	東昌寺 副住職のお話と みんなで座禅体験		
			
割りばし鉄砲（元気アップ柏木）	アロマ・マスコットづくり（児童館）	昔あそび・お手玉（通町社協）	
			
ごへい餅づくり（認定こども園みどりの森）	健康クイズ（青葉区家庭健康課）	カブラ・高さに挑戦（通町児童館）	

＜北山市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成 27 年度の取組みをご紹介します。

通町小学校連携講座「わたしのまちの歴史探検」

6/2（火） 9:30～12:00

参加：5年生 57名

案内：北山ガイドボランティア

仙台市立通町小学校の5年生では、総合学習として自分達の住む町をより知るための機会として「北山五山」を取り上げています。北山地区には、伊達家に関係した歴史遺産が多く、北山市民センター周辺に住む小学生が地域の歴史について学習することは、地域理解の上で大変貴重な体験になっていると思われます。当センターで立ち上がった北山ガイドボランティアと通町小学校の総合学習と北山市民センターが連携することで、子どもたちが北山地区の五つの寺院を実際に見学し、自分達の住む町の特徴や成り立ちについて学習する機会となっています。

コーディネートの具体例としては、各寺院の住職へ連携講座の趣旨を伝え見学依頼状を送付したり、限られた時間内に見学ポイントを効率よく見学できるようなタイムスケジュールの調整等を行いました。見学した子ども達からも様々な質問があり、北山ガイドボランティアの方たちとの交流も生まれていました。

今後もセンターがコーディネートしていくことで、地域の活動団体と小学校との関係がより強まり、連携が円滑に進むように働きかけていきたいと思います。

＜ 見 学 風 景 ＞



＜福沢市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成 27 年度の取組みをご紹介します。

北六番丁小学校連携事業の実施

福沢市民センター管内に立地する北六番丁小学校の児童の健やかな育ちと地域への愛着を深めるため、地域のボランティアの方々や団体を学校と結びました。

1 年生は「昔遊び交流」で、ボランティアグループ「福沢ちえ袋の会」のメンバーがお手玉・紙ひこうきなどの昔遊びを教えながら児童との交流を図りました。

3, 4 年生は「段ボール絵馬作り」で地域の子ども好きなボランティアの方々が見馬の絵馬作りのお手伝いを行いました。

6 年生は小学校主催の地域交流イベント「和・話・輪フェスティバル」を実施するにあたり、接遇の勉強をするなど、入念な準備を経て積極的に活動しました。福沢市民センターを活動拠点としている「福沢ちえ袋の会」「福沢おもちゃ病院トコ」・地域関連団体「花京院地域包括支援センター」と共に、福沢市民センターは総勢 26 団体の一員として参加。それぞれの活動を発表し、児童・保護者・教員・他の諸団体との交流を深めました。参加した団体はそれぞれが顔の見える関係となり、小学校以外の行事等でも相互に協力し合う体制ができました。



地域ボランティアの方々が絵馬作成のお手伝いをしました。



福沢ちえ袋の会メンバーが 1 年生児童と楽しく交流しました。



「和・話・輪フェスティバル」花京院地域包括支援センターは体験コーナーを設けました。



「和・話・輪フェスティバル」体育館のステージで昔あそび交流を行いました。

＜旭ヶ丘市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成 27 年度の取組みをご紹介します。

平成 25 年 10 月に完成した旭ヶ丘連合町内会の避難所運営マニュアルを基に、旭ヶ丘 3 町内会だけではなく、指定避難所の旭丘小学校や小学校学区である黒松・北根連合町内会からも多くの参加者を集めて訓練を実施しました。実施に当たり旭ヶ丘市民センターは各団体が有機的に繋がるように数度の会議を重ね、訓練に必要な段取り設定などの事務局機能を担いました。

当初は町内会や団体の役員などで約 70 名程度を想定していましたが、実際には 100 名を超える参加を得ることができました。旭丘小の児童からはシート、机、椅子の搬入、設置やアルファ米の炊き出しのお手伝いなど多くの協力をもらいました。

避難所運営訓練終了後には仙台ひとまち交流財団で考案した『大型ぼう災すごろく』を実施しました。参加した多くの方から楽しみながら防災を学べたとお褒めの言葉を戴きました。



指定避難所旭丘小学校の体育館で避難所運営訓練の始まりです。

避難所生活に必要な仮設トイレの組み立てです。事前にマニュアルを読み込んだこともあり約 25 分で完成しました。



『大型ぼう災すごろく』で防災を学びました。旭丘小学生チームも参加です。



＜三本松市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

「三本松寺子屋」の1回目は、台原小学校4年1組から3組の授業で、「ストップ温暖化センターみやぎ」の方々、台原地区防災リーダーの方々が講師となり「自然災害から身を守る方法」についての講座を開催しました。

台風・雷・竜巻等色々な自然災害について学んだ後に、防災リーダーが「避難場所や災害時の行動について」話をしました。避難場所については、児童達は日頃から小学校にいる時・通学中・家にいる時と確認がされていて、防災意識の高さに感心しました。

先生がまとめの時間を担当し、児童が授業の感想やこれから取り組みたい事を発表しましたが、どのクラスも立派な発表でした。自然災害が多発する昨今、緊急の時にはどうしたら良いか、自分の身を守るには何をすれば良いかなど、改めて防災について考える良い機会となりました。

この講座がきっかけとなり、台原小学校防災に関する授業参観後の避難訓練でも台原地区防災リーダーが活躍し、顔の見える関係が築かれました。

今後も台原地区全体で世代を越えて防災について取り組む支援をしていきます。



＜片平市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

●「かたひら夏祭り」

例年、片平丁小学校を会場に町内会・小学校・地域団体が共催で「かたひら夏祭り」を開催しています。平成27年度は8月22日（土）に行われ、市民センターは盆踊りのコーナーを担当しました。前日21日に夏祭りに向けて、体育館で小学生を対象に「七夕おどり」と「相馬盆歌」を練習しました。当日は、児童館製作のやぐらを設置し、片平公園の竹で作った竹太鼓を用意しました。子ども達は前日の練習の成果を発揮し一生懸命盆踊りを踊ったり、竹太鼓を叩いたり、日本の伝統芸能の楽しさを味わう機会となりました。

●「かたひら餅つき大会」

1月23日（土）片平丁小学校を会場に、片平地区まちづくり会主催で開催しました。前日からPTAのお母さん達と市民センター職員が餅米50升を研いで準備し、当日は餅米を蒸すのをお手伝いしました。立町学区民体育振興会の方達も応援に駆けつけ、子供たちに杵と臼での餅つきを教えてくださいました。雑煮・あんこ・きな粉・納豆・のりの5種類の餅を作り、子ども達と地域の方約400人が参加し楽しいひと時を過ごしました。

「かたひら夏祭りの様子」



「かたひら餅つき大会の様子」



＜水の森市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

当館では、地域の防災力向上をテーマに、北仙台地域防災ネットワーク会議及び北仙台地区連合町内会と連携して、毎年「水の森防災学校」を開催しています。今年度は町内会防災担当者を対象に ① 町内会防災担当者向け防災講座、② 避難所開設運営マニュアルの机上での実践 ③ 総合防災訓練の報告と講話「水害・土砂災害への備え」の3講座を開催しました。

当館と社会学級との共催事業「ほっとタイムコンサート」を昨年に引き続き実施したところ大好評で、北仙台社会学級と荒巻社会学級との連携を図ることができました。また、当館を拠点とした市民グループの活動も活発に行われており、襖や障子、網戸などの張り替えをボランティアで行う「住まいのサークル」、昔遊びグループ「わらすっこ」、子育てグループ「にこママ研究所」などのサークルは、当館事業への参加協力、出前講座の実施など、地域活動として定着しています。

地域活動情報を共有し、顔の見える関係づくりと地域連携を促進するため、平成27年度も当館管内の小中学校の地域連携担当教諭と地域団体代表者等にご出席をいただき、地域懇談会を開催しました。

今後も、市民センターがつなぎ役となり、地域連携の輪と和を広げてまいります。



「水の森防災学校 パネルディスカッション」

当館 体育館



「水の森防災学校 活発なグループワーク」

当館 体育館



「ほっとタイムコンサート」当館ロビー



「わらすっこ 昔あそび」北仙台小学校

＜貝ヶ森市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

平成27年10月9日 多目的ホールにて貝ヶ森児童館共催のちびっこまつりを開催致しました。国見・貝ヶ森地域の児童福祉協議会、日赤など11団体の協力を得て行われ、地域の皆さんはもとより、64組の乳幼児親子が参加し、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

内容を少しご紹介すると、オープニングで行った風船を使ったパフォーマンスでは、子ども達が目を丸くして、見入っていました。

それぞれのコーナー遊びでは、地域の方々にそれぞれのブースを担当して頂き、わらべうた・ビンゴ・バルーン・ボールプール・水ヨーヨー・ワニワニ・バック作り・お面など、子ども達を楽しませてくれました。

参加者の感想からも、「子ども達がいきいきしていて、楽しかった」「遊ぶコーナーが盛り沢山だったので、全部回れないのではと心配した程」「手作りのお面がとてかわいかった」「去年とはまた違うコーナー遊びがあって、よかった」「わらべうたや手遊びが大変参考になりました」等、次年度の実施にも期待する声が寄せられ、地域の方々と連携する効果を伺い知ることも出来た一日でした。



＜中山市民センター＞の取組み【目標3-①】

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成 27 年度の取組みをご紹介します。

西勝山町内会では、従来から、祭りや運動会等は活発に行われていましたが、まだ取組が行われていなかった集会所周辺の美化の方策を考えていました。そこへ市民センターから落葉堆肥づくりとその活用に係る事業への取組みを勧めたところ、町内会の意図と合致し、町内をあげて取組むこととなりました。これにより生活環境衛生部や文化厚生部の方々など横の繋がりが強くなるとともに、スポーツパパの会等へも広がり、町内の結束が固くなり、地域の活性化へつながりました。

堆肥づくり



花壇づくり



花壇づくり講習会



＜折立市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成 27 年度の取組みをご紹介します。

東日本大震災で折立地区は宅地崩壊など大きな被害を受けたことを契機に、折立地区防災対策連絡会が発足し、活動を開始していますが、折立市民センターはその事務局として、防災・減災に関わる講座を企画提案して本連絡会と共催し、事業を展開しています。

平成 27 年度はこれまで実施してきた折立中学校2年生が対象の防災講座「僕たち私たちにできること」では救急救命の他、連絡会メンバーの指導で簡易トイレ組立や炊出し訓練などを実施しました。また、今年度初めて折立小学校でも5年生を対象とした防災教室を共催して開催し、今後も継続して実施することとなりました。

成人を対象に共催した講座「災害に強いまちを目指して」では仙台ひと・まち交流財団考案の「BOTA ゲーム」を活用しながら、連絡会と共催して、いざという時の防災・減災について学びました。

このように、市民センターが地域団体や学校との連携を深めることで、子どもたちから大人まで地域が一体となった防災・減災に向けて貢献することができました。



防災対策連絡会の指導による中学生の簡易トイレ組立訓練



防災対策連絡会の皆さんが見守る中で小学生の防災教室



BOTAゲームによる防災・減災学習

＜広瀬市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成 27 年度の取組みをご紹介します。

主催事業「平和学習」では、小学 6 年生を対象にして地域の方の戦争体験や当時の生活の様子を伺いながら、当時の様子を学ぶ機会を設けています。

地域の語り部のお一人は、この活動から他の学校にも招かれることが多くなり、小学校に出向き、戦争体験だけではなく、古くから伝わる地域の行事や暮らしの様子についても地域学としてお話をを行っています。



＜宮城西市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

①「広陵中学校避難所開設・運営訓練」

宮城西市民センターのコーディネートで、広陵中学校が避難所となっている、3町内会（熊ヶ根町内会・下倉町内会・大手門町内会）を中心に、広陵中学校・熊ヶ根保育所・消防署・仙台市も参加し、避難所開設・運営訓練を行いました。

②「移動研修会・交流会、懇談会」上愛子学区社会福祉協議会と共催

宮城西市民センターのコーディネートで、定義館を会場に、地域内の一人暮らし高齢者を対象とした研修会・交流会、懇談会が行なわれ、約40名の方に参加いただきました。

③「地域関連行事に関する情報交換会」

宮城西市民センターのコーディネートで、上愛子小学校・広陵中学校・熊ヶ根保育所・上愛子学区連合町内会・熊ヶ根町内会・市民センターを対象に、次年度の関連行事がスムーズに行われるように、年間行事（予定）のすり合わせや、連携行事の提案及び情報交換等を行いました。

①広陵中学校避難所開設・運営訓練



②移動研修会・交流会、懇談会



＜大沢市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成 27 年度の取組みをご紹介します。

ママフェス

乳幼児親子が楽しく参加できる講座として、大沢市民センターと大沢・川前・大竹の3児童館が共催して開催しました。

こども向けのステージやコーナーの他に、ママのためのコーナーも提供。こどもだけでなく、ママも楽しいひと時を過ごすことができました。

コーナーは各児童館の子育て支援クラブと職員が協力して担当しました。また大沢・川前の社会福祉協議会からも協力いただき、地域全体で子育て支援をすることができました。

今後も地域団体と協働しながら、子育て支援をしていきます。

◎ 平成 27 年 11 月 13 日（金） 実施

◎ 会場 大沢市民センター

◎ 参加者数 35 組・74 名



こどもコーナー：川前児童館子育て支援クラブの皆さんによるパタパタ工作はこども達で大賑わい。



ママコーナー：ハンドマッサージは、大竹児童館子育て支援クラブの皆さんが担当しました。



エンディングには児童館職員がキャラクターに扮し、参加者全員で体操しました。

～参加者アンケートより～

・ママのための催しもあったのでよかったです。・普段自分のことは後回しなのでうれしいです。
・オープニングのピンポンパン☆さんの人形劇が楽しかったです。・大人も子供も楽しめてとてもよかったです。いつも子供のために参加しているので疲れるけれど、自分も楽しめると違う気分でした。・楽しかったです。またぜひ参加したいです。

＜落合市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

宮城広瀬高等学校連携事業「いってみよう！やってみよう！
広高タイム」を実施しました。

平成27年度は、宮城広瀬高等学校部活動と連携して、主に小学生を対象とした講座を8回行いました。（一講座は地域の方へも参加を募ります。）

「みんなで卓球！」卓球部による実技指導

「広高祭に行こう！」生徒会執行部による文化祭案内

「落合・栗生地区まつり協力」自然科学部（スライム作り）

合唱部（合唱披露）

奉仕活動部（演芸の部司会）

「書き初めに挑戦！」書道部による書き初め指導

「生徒作品パネル展示」写真部、美術陶芸部、書道部合同で

市民センターロビーに展示

毎回生徒と顧問の先生との綿密な打合せを行い、当日の講座運営に備えました。今後も継続していくことで、学校と地域との橋渡しになれるよう努めていきます。



＜吉成市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

南吉成中学校区学校支援地域本部スーパーバイザーから、小学3年生を対象とした事業「地域の達人を知ろう」（2／1実施）で子どもたちに折り紙や絵手紙、ちぎり絵を教えてくださいと地域の方を紹介してほしいとの依頼がありました。

そこで当市民センターで活動している「折り紙ボランティア 紙ふうせん」、「絵手紙サークルさくら」、「和紙ちぎり絵カトレアの会」の皆さまにお声をかけたところ、快くお引き受けくださいました。

活動終了後さっそく、子どもたちの感想文を各サークルの皆さまに届けてくださり、学校では味わえない体験をしましたといううれしい報告をしていただきました。ご協力いただいたサークルの皆さま方もいつもの環境と違って楽しかったと話してくださいました。

この活動は、「学校支援だより 地域版」（3／17発行）として南吉成学区内の皆さまに紹介されました。



和紙ちぎり絵カトレアの会



折り紙サークル「紙ふうせん」



絵手紙サークル さくら

＜木町通市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

木町通地域各種活動団体連絡会を開催（年3回）しています。

この会議は、木町通地域にある学校や施設、団体の方に参加して頂き、活動内容や近況報告、情報交換を行うものです。自分たちの地域にどのような団体があるのか、またそれぞれの団体がどのような活動をしているのかお互いの活動の紹介等をしています。

今年度は、地域包括支援センターから地域の高齢者支援の現状や、交番の方から最近の木町通地区の現状、防犯対策について話を伺いました。

地域に長く住んでいても、わからないことが多く、このような会議を開くことにより、地域の団体を知り、人を知り、顔の見える関係作りをすることができます。このような会議を継続することにより、いざという時にもお互いに助け合えるようなより良い関係を作ることを目指しています。

